



JAPAN
SOCIETY

333 East 47th Street
New York, NY 10017
japansociety.org

FOR IMMEDIATE RELEASE

<プレス・リリース>

配信日 2022年3月7日

プレス担当：

マリカ絵美 (EMarica@japansociety.org)

アリソン・ロッドマン (ARodman@japansociety.org)

ジャパン・ソサエティー (JS)
舞台公演部 2021-22 年度シーズン

沖縄返還 50 周年記念

『時を超えた波音－沖縄の伝統舞踊と音楽』

Waves Across Time: Traditional Dance and Music of Okinawa

2022年3月18日(金)・19日(土)

午後7時30分開演 全2回公演

於：ジャパン・ソサエティー内 劇場
(333 East 47th Street, New York, NY 10017)

ジャパン・ソサエティー (JS) 舞台公演部は、3月 18 日と 19 日の 2 日間にわたり、『時を超えた波音 - 沖縄の伝統舞踊と音楽』の公演を実施します。沖縄の施政権が米国から日本に返還されたのは 1972 年。その 50 周年を機に、本公演前半では琉球王国（1429–1879）後期から 300 年にわたって継承されてきた宮廷の歌舞劇「組踊」くみおどり 演目から名場面集を、後半には明治以降に生まれた民衆の雑踊ぞうおどり や創作舞踊からなる演目を、国立劇場おきなわ芸術監督の嘉数道彦氏かかずみちひこ の監修・構成のもと、ライブの演奏家を交えて上演します。

組踊は、首里王府が中国皇帝の使者である冊封使を歓待するために、踊奉行であった玉城朝薰（たまぐすくちょうくん、1684～1734）が創作したものです。舞踊、音楽、せりふ、所作によって構成されており、その初演は1719年でした。17世紀初頭以来、琉球王朝は日本の薩摩藩にも圧力を受けており、そのため薩摩や江戸に公務で出かけていた朝薰は、能や狂言、歌舞伎などの大和芸能を鑑賞し、琉球国内では中国戯曲を鑑賞するなどして造詣を深めました。そして、琉球古来の芸能や故事を基礎に、大和芸能や中国戯曲にヒントを得て組踊を創作したのがその経緯です。1972年に沖縄が日本へ復帰すると同時に、組踊は日本の優れた芸能の一つとして、能、歌舞伎、文楽などと同じく国の重要無形文化財に指定されました。また、2010年には、能や歌舞伎や文楽と並んで、ユネスコの無形文化遺産保護条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されました。

1879年の廃藩置県に伴い、琉球は沖縄県となり、組踊や古典舞踊の担い手であった士族とその子弟は職を失いますが、やがて庶民に流布する民謡や風俗を取り入れた新しいスタイルの舞踊を創り出しました。これが「雑踊」であり、従来の古典舞踊の格調の高さに替えて、振りの様式、構成、衣裳などに新たな民衆エネルギーが注がれ、アップテンポの庶民芸能として定着しました。さらに、戦後つくられた舞踊は「創作舞踊」と称され、優れた作品が相次いで生まれています。

本公演第一部では、「組踊」の定番演目から抜粋したシーンをお届けします。前半最初の二演目、女踊『坂本節』と二才踊『高平良万歳』は、それぞれ組踊の『万歳敵打』から独立した舞踊。三演目は組踊『手水の縁』より「忍びの場」全編を披露します。第二部では、「雑踊」（『浜千鳥』、『鳩間節』、『加那よ一天川』）と「創作舞踊」（『武の舞』）に加え、フィナーレには本公演のために嘉数道彦氏が創作・演出した構成舞踊『村栄え』を出演者全員でお届けします。

本公演の舞踊家・演奏家および演目は、嘉数氏が自ら本プログラムのために特別に選出・構成をしたもので、出演者は全員、沖縄県立芸術大学出身、1972年の沖縄返還後に生まれたアーティストたちで、国立劇場おきなわでの企画公演にも多く携わってきました。沖縄返還から50年という時を経て、今なお継承される沖縄の伝統芸能を、米国の観客に体験してもらうことが本プログラムの狙いであります。なお、JSでの公演は、JSのプロデュースとオーガナイズによる米国5都市ツアー（ワシントンDC、シカゴ、グリーンビル（サウスカロライナ州）、イーストン（ペンシルベニア州））の一環です。

また、JS では公演開始の 1 時間前（午後 6 時 30 分）より、沖縄の芸能や文化、歴史に関するプレ・パフォーマンス・レクチャーの実施する他、3 月 19 日に大人向け、20 日には家族向けの沖縄舞踊ワークショップを実施します。この機会に、沖縄独特の音階と鮮やかに染められた紅型の装束とともに、日本の南西諸島の歴史と文化をお楽しみください。

【リストイング・インフォメーション】

沖縄返還 50 周年記念：『時を超えた波音 - 沖縄の伝統舞踊と音楽』

Waves Across Time: Traditional Dance and Music of Okinawa

日時：2022 年 3 月 18 日（金）午後 7 時 30 分（終演後「MetLife Meet-the-Artists」レセプションあり）

2022 年 3 月 19 日（土）午後 7 時 30 分（終演後「アーティストの質疑応答」あり）

チケット料金：一般 \$42／JS 会員 \$32

詳細&チケット購入：<https://www.japansociety.org/arts-and-culture/performances/traditional-dance-music-okinawa>

【『時を超えた波音 - 沖縄の伝統舞踊と音楽』関連イベント】

大人向け・沖縄舞踊ワークショップ 「Introduction to Okinawan Dance」

日時：2022 年 3 月 19 日（土）午前 11 時～午後 1 時

チケット料金：一般 \$50／JS 会員 \$40（最大参加者 25 名）

動きやすい服装、靴下着用でご参加ください。（ダンス経験不要）

詳細：<https://www.japansociety.org/arts-and-culture/performances/introduction-okinawan-dance>

家族向け・沖縄舞踊ワークショップ 「Okinawan Dance Workshop for Families」

日時：2022 年 3 月 20 日（日）午前 10 時 30 分～午前 11 時 45 分

チケット料金：（最大参加者 20 名）

シングルチケット 一般 \$15／JS 会員 \$12

ファミリーチケット 一般 \$40／JS 会員 \$32

お子様は5歳以上、保護者の同伴が必要となります。

動きやすい服装、靴下着用でご参加ください。（ダンス経験不要）

詳細：<https://www.japansociety.org/arts-and-culture/performances/okinawan-dance-workshop-families>

ボックスオフィス：212-715-1258

月曜～金曜 午前9時～午後5時

または JS ウェブサイト www.japansociety.org

会場：ジャパン・ソサエティー内、劇場（333 East 47th Street, New York, NY 10017）

【舞台公演部について】

JS 舞台公演部は、1953年の創部以来、雅楽、能、歌舞伎、人形劇、三味線や落語などの古典芸能から最先端の現代劇、実験音楽やポップ・ミュージック、コンテンポラリー・ダンスまで、あらゆるジャンルの舞台公演を企画し、当館内劇場にて主催上演し、これまで1000種に近いプログラムを米国の観客に紹介してきました。また、招聘したアーティストや団体のために巡回公演（ツアー）をプロデュースすることで、ニューヨークを越えた北米全土に対して日本の舞台芸術を紹介する役割をも果たしています。日本の優秀な若手アーティストにとっては国際的キャリアの登竜門として、また米国人アーティストには新作委嘱や交換レジデンシーなどを通じてより深い日本理解の機会を与える貴重な機関として、日米の舞台芸術界に比類のない貢献をしています。

JS 舞台公演部は、2022年春には下記の通り、日本の国際的なアーティストを招聘し、先住民族の文化に焦点を当て、日本の最南と最北の県である沖縄と北海道より、それぞれ先住音楽や踊りを紹介します。

- 沖縄返還50周年記念 『時を超えた波音—沖縄の伝統舞踊と音楽』 (2022年3月18月、19日)
- コンサート『OKI：アイヌの音楽』 (2021年5月6日)

【JSについて】

JSは1907年の創立以来、日本の芸術、文化、ビジネス、社会をニューヨーク及び世界の人々とつなぐ全米随一の規模を誇る日米交流団体であり、芸術と文化、公共政策、ビジネス、サステナビリティ、教育における革新的なプログラムを通じて、ニューヨーク市歴史的保存建築に指定されているJS本部ビルからだけでなく、オンライン形式でも発信しています。JSでは文化的な「きずな（絆）」を深めるために、革新的な次世代クリエーターの支援、日米相互理解の促進、日本の多様性

を深く理解しようと願う世界の人々にとって信頼できる案内役となることを目指しています。拠点とするニューヨーク市でのつながりを一層強化することに加え、米国内外での新たな架け橋の構築にも取り組んでいます。詳細は www.japansociety.org をご覧ください。

JS は今年、ニューヨークのランドマークである本館設立 50 周年の記念して新しいロゴマークを導入いたしました。JS が文化や人種、時を超えてつながりを作っていく基盤となることを願い、「JS」の文字の重なりと線と形の連結を用いて、縛というコンセプトを打ち出しています。

公式 SNS アカウント：

Facebook : facebook.com/japansociety

Instagram : [@japansociety](https://www.instagram.com/@japansociety) and #japansociety

Twitter : [@japansociety](https://twitter.com/@japansociety) (英語) / [@js_desu](https://twitter.com/@js_desu) (日本語)

その他、詳しい情報は弊会ウェブサイト <http://www.japansociety.org> をご参照ください。

住所 333 East 47th Street (1Avenue と 2 Avenue 間), New York, NY 10017

最寄駅は地下鉄、4/5/6 番ライン、7 番ラインのグランドセントラル駅、あるいは E か M ラインのレキシントン街・53 丁目駅。代表電話 212-832-1155 / ウェブサイト www.japansociety.org

取材申し込み：

上記公演の取材をご希望の方は、事前に必ずプレス担当：マリカ／ロッドマンまで E メールで (EMarica@japansociety.org / ARodman@japansociety.org) お申し込みください。尚、プレス席には限りがございます。満席の場合はご容赦ください。

2021-2022 年度の JS 舞台公演部は、
以下の財団・基金・企業および個人より支援・後援をいただいている。

Support for 2021-2022 Performing Arts Season

Lead Sponsor: MetLife Foundation. The season is made possible, in part, by public funds from the New York City Department of Cultural Affairs in partnership with the City Council and the New York State Council on the Arts with the support of the Office of the Governor and the New York State Legislature. Major support is generously provided by the Howard Gilman Foundation,

Doug and Teresa Peterson, and The Fan Fox and Leslie R. Samuels Foundation, Inc., with endowment support from the Lila Wallace-Reader's Digest Endowment Fund and the Endowment for the Performing Arts, established with a leadership gift from the Doris Duke Charitable Foundation. Additional support is provided by the Royal Little Family Foundation, Helen and Kenneth A. Cowin, Dr. and Mrs. Carl F. Taeusch II, Dr. Jeanette C. Takamura, Estate of Alan M. Suhonen, Sarah Billinghamur Solomon and Howard Solomon, Nancy and Joe Walker, Dr. John K. Gillespie, Paula S. Lawrence, Dr. Stephen and Mrs. Michiko Levine, Marjorie Neuwirth, Hiroko Onoyama, Lyndley and Samuel Schwab, and Nora and David Tezanos. Transportation assistance is provided by All Nippon Airways Co., Ltd. Yamaha is the official piano provider of Japan Society. MetLife Meet-the-Artists Reception is provided by MetLife Foundation.

Waves Across Time: Traditional Dance and Music of Okinawa is supported, in part, by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan through the Japan Arts Council; The JEC Fund; the National Endowment for the Arts and The Asahi Shimbun Foundation. This engagement of Waves Across Time: Traditional Dance and Music of Okinawa is made possible through the ArtsCONNECT program of Mid Atlantic Arts with support from the National Endowment for the Arts.